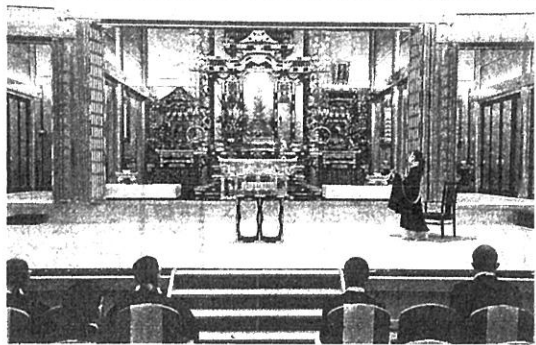


## 宗学堂で入学式 「学びを深めて」

東本願寺別院の本願寺眞無量院（下京区、大谷飛鳥住職）が開いている「仏教学院宗学堂」の入学式が、東山浄苑東本願寺（山科区）の本堂で行われ、京都学院と東京学院の初等科生計10人が仏教を学ぶ新たなスタートを切った。写真。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止され、2年ぶりの実施となった。

平成20年に開講した宗学堂は、初等科、中等科、高等科があり、仏教を教養として学びたい人から、専門的・体系的に学び、得度を目指す人まで、広く開かれた「学び舎」。これまでに145人が浄土真宗大谷本



願寺派の僧侶となった。3年度の入学生は、27〜76歳の社会保険労務士や公務員、主婦ら。

学院長を務める大谷住職は「コロナ対策に気を配りながら、しっかりと仏教の学びを深めてほしい」と話していた。

見学などの問い合わせは宗学堂事務局（075・371・1717）